



学校だより
ながや

令和2年度 第2号
令和2年 5月13日
横浜市立永谷小学校
校長 平野 好子

今できることをひとつずつ

校長 平野 好子

新型コロナウイルス感染症感染・拡大予防のため、4月6日に入学式、翌7日に始業式を行い、2～6年生は1日、1年生は2日間の登校後、一斉臨時休業となりました。そして、緊急事態宣言期限延長を受け、一斉臨時休業も5月31日まで延長となりました。

私自身、連休中は、「いのちを守る STAY HOME 週間」として、生活必需品購入のためにだけ自転車や徒歩で買い物に出る以外は、家族とともにずっと家で過ごしました。何か家の中で、できることはないかと考え、しばらくぶりに裁縫箱を引っ張り出し、手縫いでマスクをつくってみました。インターネットの情報をもとに、ハンカチや未使用の枕カバーから自分なりに型紙をとり、縫ってみました。1枚の布がもとになり、縫い合わせることで、マスクやマスクカバーという形になることが面白く、楽しく、夢中になりました。今まで作ったことのない料理にも挑戦しました。以前、手入れを怠ったり、だめにしてしまったぬか床づくりにも再トライし、やったことのない麴を使った漬物にもチャレンジしています。

新型コロナ感染症のために、これまで当たり前だった日常生活や自由が制限され、先が見えないというマイナスばかりでなく、今までやったことのないもの、手にして見たことのないもの、いつもだったら足を止めずに通り過ぎていたものに目を向けることができたことを喜び、喜びを感じることができる、日々できることを積むことができる、というプラスの思考も大切なのではないかと、今、感じています。

春から初夏へと季節も移り行く中で、さらに延長した休業期間中に、子どもたちが、家で自ら取り組める課題について、そして子どもたちの学びにつながる課題について、教職員も真剣に考え、子どもたちとの再会を思い描きながら準備しました。学校再開に向けて、子どもたちの様子を確認しながら、一人ひとりに課題の受け渡しを行います。ソーシャルディスタンス（フィジカルディスタンス）を守りながら、課題の受け渡しの場を通して、担任が子どもたちに実際に会う中での短い会話等から、心身の状態の把握に努めます。感染防止対策を十分講じながら、学校再開に向けての一步として、行います。

「自分は一人じゃない。」この休業期間中、自分や大事な人を守るために、皆様が子どもたちとともに、STAY HOME をしながら、今、すべきことは何かを考え、考えたことに沿って行動していただいていることに感謝いたします。学校も再開に向けて、できることをひとつずつ、取り組んでまいります。

保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬご支援・ご協力をお願いいたします。